

# クリエイティブ・マネジメント

シアター・ワークショップで学ぶコネクション、コラボレーション、リーダーシップ

現在、世界のビジネススクールでは、リーダーシップ開発、チェンジ・マネジメント(組織変革)教育、起業(企業)家育成等の分野で、演劇やデザイン、レゴ・ブロックなど、さまざまなアート技法を用いたワークショップ形式の授業が広く行われている。本学経営学研究科「医療・福祉イノベーション経営」社会人プロジェクト研究(医療・福祉職向け夜間修士課程)でも、海外ビジネススクールや国内教育系大学院の協力を得てアート・ワークショップを実施し、高い教育効果を得ている。本セッションでは、大学教員・演劇家・コンサルタントとして、多くの欧米のビジネススクールや企業研修でシアター(演劇)・ワークショップを実施している、米国・ウースター工科大学のステイブン・S・テイラー准教授に登壇頂き、理工系研究・技術者と経営学研究科社会人・一般大学院生12名を「受講生」として、組織変革や起業に不可欠な「コラボレーション(協働)」能力を涵養する公開シアター・ワークショップを開催する。会場内の特設ステージ(30平米)では、テイラー准教授による導入講義の後、「受講生」のグループワークとプレゼンテーションが行われ、その様子はビデオカメラで会場壁面にも投影される。また、グループワーク中にはやはり会場壁面を利用して、シアター・ワークショップ・ファシリテーターであり女優としても活躍中の、米国クリーブランド・クリニク・ファウンダーの組織学習・開発コンサルタントであるレズリー・ステイジャー博士が、会場参加者向けにオンライン解説を行うほか、デンマークのコペンハーゲン・ビジネススクールやフランスのICNビジネススクール、青山学院大学大学院社会情報学研究科からの、アート・ワークショップに関するビデオ・プレゼンテーションも紹介する。

## 公開シアター・ワークショップ導入講義、指導、解説

ステイブン・S・テイラー (ウースター工科大学(米国マサチューセッツ州)経営学部 准教授)



マサチューセッツ工科大(米)学士(人文学、1982年)、エマソン・カレッジ(米)修士(パフォーマンス・アーツ、1993年)、ボストン・カレッジ(米)博士(経営、組織研究、2000年)。バース大学(英)チェンジ・マネジメント担当講師等を経て2002年から現職。学術雑誌「Organizational Aesthetics(組織美学)」誌エディター。フルブライト・スベシャルリスト(2013年、ニュージーランド)、リサーチャー・イン・レジデンス(2008年、バンフ・センター、カナダ)演劇(脚本)家・組織開発コンサルタント・人材育成トレーナーとして米国、カナダ、ニュージーランド、オーストラリア、英国、フランス、イタリア、デンマーク、ポーランドなどのビジネススクールや企業、官公庁でシアタースタイルのワークショップやプレゼンテーションを実施。

著書・論文:『Leadership Craft, Leadership Art』(2012年、単著、Palgrave Macmillan)、『Action Inquiry』(2004年、共著、Berrett-Koehler)ほか論文・分担執筆多数。

## 公開シアター・ワークショップのライブ解説

レズリー・ステイジャー博士 (米国クリーブランド・クリニク・ファウンダー、組織学習・開発コンサルタント)

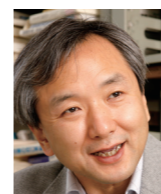


2003年にカリフォルニア臨床心理大学院博士課程を修了後、ニュージーランドのマッセー大学などで教授としてビジネスマネジメントやコミュニケーションなどについて教鞭をとる。その間、優秀教員賞も受賞。現在は、米国クリーブランド・クリニク・ファウンダーにおいて組織学習・開発コンサルタントとして活動しており、演劇や演技の手法がビジネスのフィールドにおいてどのような効果をもたらすかについて、研究を重ねている。また、研究の傍ら、彼女自身が女優としてテレビやコマーシャルなどにも出演している。現在、米国バージニア大学ダーデン経営大学院のR・エドワード・フリーマン博士と共に共同研究も進めている。

### タイムテーブル

- 10:00-10:20: クリエイティブ・リーダーシップ(ミニ講義)
  - アントレプレナーシップ(企業家/起業家)とリーダーシップの本質は創造性にある。それらは科学ではなくアートである。アーティストは創造性をどのように理解しているのか。
  - 本セッションではコラボレーションに焦点を当てる。
- 10:20 - 10:40: コラボレーションの構造と感覚(壇上および会場参加者によるエクササイズ)
  - ネガティブな会話
  - ポジティブな会話
  - 必ず「そうですね、それで」と答えるエクササイズ
  - 「イメージシアター」握手エクササイズ(壇上参加者によるエクササイズ)
  - ディスカッションとつながりへの関連性
- 10:40 - 11:00: コラボレーションを妨げるもの(壇上参加者によるエクササイズ)
  - ステータスの低い態度(低姿勢)
  - ステータスの高い態度(高姿勢)
  - ステータスの高いグループと低いグループのやりとり
  - ステータスの低いアイ・コンタクト(目線)
  - ステータスの高いアイ・コンタクト(目線)
  - ステータスの高いグループと低いグループのやりとり
  - エクササイズからの知見とつながりとの関連性
- 11:00 - 11:30: ステータスを実践する(壇上参加者によるエクササイズ、会場向けオンライン・ライブ解説)
  - 自分のステータスを上げる/下げる
  - 他人のステータスを上げる/下げる
  - ディスカッション
- 11:30 - 11:45: 心を開く(壇上および会場参加者によるエクササイズ)
  - 他者に心を開く(壇上および会場参加者によるエクササイズ)
  - ディスカッションとつながりとの関連性
- 11:45 - 12:00: まとめ:コメントとディスカッション

## 総司会、ワークショップサポート



川村尚也 (大阪市立大学大学院経営学研究科准教授)

1987年東京大学教養学部卒業。一橋大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学。西武百貨店企画室、甲南大学経営学部助教授等を経て2000年より現職。専門は経営学・経営組織論で、保健・医療・介護・福祉・芸術文化・教育・環境等の分野の非営利組織の知識経営(ナレッジ・マネジメント)を研究している。2009年度から経営学研究科前期博士課程社会人プロジェクト研究「医療・福祉イノベーション経営」の指導を担当し、医療機関・社会福祉法人等の管理職・専門職向けのマネジメント教育に取り組んでいる。NPO法人eヘルスプロモーション・アット・ワーク関西理事。一般財団法人環境事業協会評議員。大阪市立扇町総合高等学校校評議員。



山田仁一郎 (大阪市立大学大学院経営学研究科准教授)

1997年北海道大学大学院経済学研究科修士課程修了。2000年同大学大学院同科博士課程修了。2000年香川大学経済学部専任講師、2001年助教授。2002年英国・クランフィールド大学マネジメントスクール客員研究員。2006年フランス・ホルドー・マネジメントスクール客員教授。2007年香川大学経済学部准教授。2011年大阪市立大学大学院経営学研究科准教授、文部科学省科学技術政策研究所客員研究員。

## ビデオ・プレゼンテーション



ステファン・マイジック  
デンマーク・コペンハーゲン・  
ビジネススクール准教授



クラウス・ペーター・シュルツ  
フランス・ICNビジネススクール  
准教授



高木光太郎  
青山学院大学大学院社会  
情報学研究科教授